

中大型獣の効果的防除

獣害対策コンサルティング

野生動物の生息範囲の拡大により、私たちの活動範囲に野生生物が頻繁に侵入するようになりました。このため農村山間地だけでなく市街地においても中大型獣による獣害が頻発しています。人と野生動物が上手に共存するためには、野生動物の生息状況や地域の実情を踏まえた適切な対策が必要です。

正確な生息密度や個体数の推定
地域の実情を踏まえた獣害対策
専門技術者によるサポート

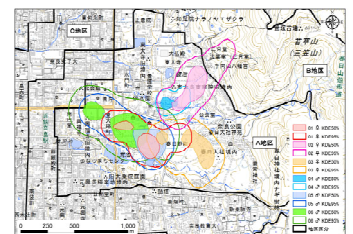


KANSO テクノスは、野生動物の生息状況調査や行動解析に継続して取り組んできており、得られた知見をもとに獣害対策技術を確立しました。これらの技術を用いることにより、簡便かつ高精度に野生動物の分布状況や行動を知ることができます。さらに調査結果をもとに、地域の実情を十分に把握したうえで、効果的な防除手法を立案するなど、適切な獣害対策コンサルティングを提供します。

Point 1

効果的な調査と統計的手法による解析

フィールドサインや自動撮影カメラ、GPS テレメトリー等の調査により、対象の野生動物の生息状況や行動を把握します。得られた結果は、最新の統計的手法を用いた解析を行い、生息密度や個体数等を正確に推定します。



小型 GPS 端末により追跡した
シカの行動範囲

※天然記念物「奈良のシカ」保護計画
平成 30 年度奈良県委託業務 当社実績

Point 2

地域の実情を踏まえた対策の策定

各種調査を通じて、地域における被害状況や背景、要因を明らかにします。得られた結果から、地域の実情に応じたオーダーメイドの対策を策定します。さらに PDCA サイクルによる順応的な管理対応を行い、持続的かつ効果的な対策を提供します。



Point 3

経験豊富な専門技術者によるサポート

鳥獣保護管理プランナー・鳥獣保護管理調査コーディネーターの資格を有する技術者が、鳥獣保護管理に関する専門的な知識や経験をもとに、各種取り組みをサポートします。



自動撮影カメラによる観察と解析

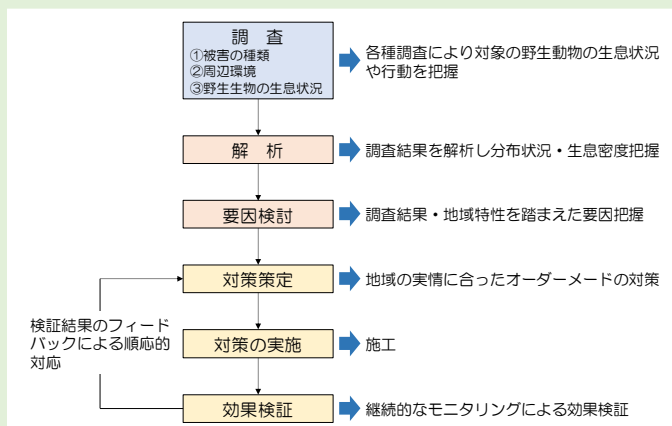
上：設置した自動撮影カメラ

下：自動撮影カメラで捉えた映像

効果的な調査・対策実施

調査から解析、要因検討、計画策定、対策実施、効果のモニタリング、メンテナンスを行う一貫した獣害対策のコンサルティングを提供します。

※一連のサービスは、科学技術に関する高度な知識、応用能力を有する環境分野の技術士資格と、鳥獣保護管理に関する専門的な知識や経験を持つ鳥獣保護管理プランナー・鳥獣保護管理調査コーディネーターの資格の両方を有する技術者が一貫してサポートします。



適切な調査の実施

調査例①：フィールドサイン調査

野生動物の食痕、足跡、糞など各種の生活痕跡（フィールドサイン）を現地で調査し、生息種を推定します。

調査例②：自動撮影カメラ

赤外線センサー式自動撮影カメラにより野生動物を撮影します。フィールドサイン確認箇所やけもの道などに設置します。また、夜行性動物の行動把握にも有効です。

調査例③：GPS テレメトリー調査

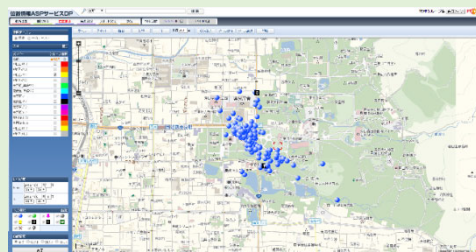
野生動物に取り付けた小型 GPS 端末により、10 ヶ月以上の連続モニタリングを実施します。
携帯電話ネットワークを通じたデータ送信により、測位データをリアルタイムでチェックすることができます。



フィールドサイン



自動撮影カメラで捉えたイノシシ



GPS テレメトリーで得られたシカの測位データ



統計学的アプローチによる高精度解析

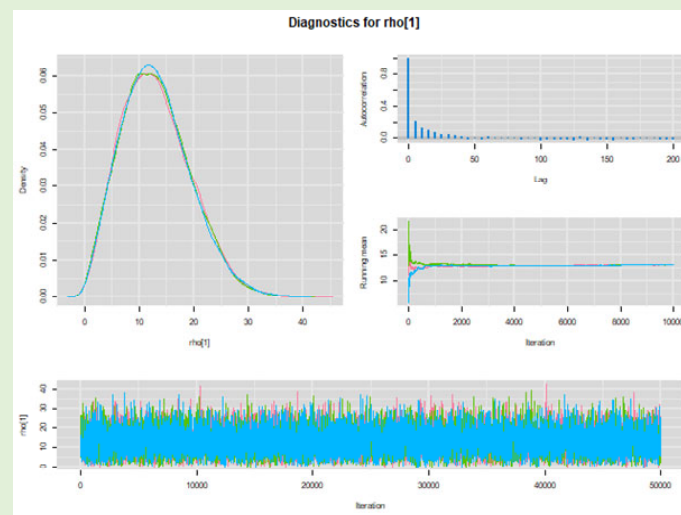
調査データから、統計学的アプローチにより生息密度を推定します。

また、自治体の捕獲データ等と合わせると、より精度の高い生息密度推定が可能となります。

解析結果を踏まえた対策案の策定

調査結果と、地域・周辺環境の特性を踏まえた対策案を立案・施工します。

また、実施した対策については、継続的なモニタリングを行い、都度のフィードバックにより効果改善を行います。



生息密度推定結果（ベイズ法を使用）

